

なぜいま 蘇我地区に石炭火力発電所なのか



千葉県に 原発4基分の 石炭火力発電所が 計画中

参考：石炭発電所新設ウォッチ・石炭発電所新設マップ

千葉市蘇我に 計画中の 石炭火力発電所

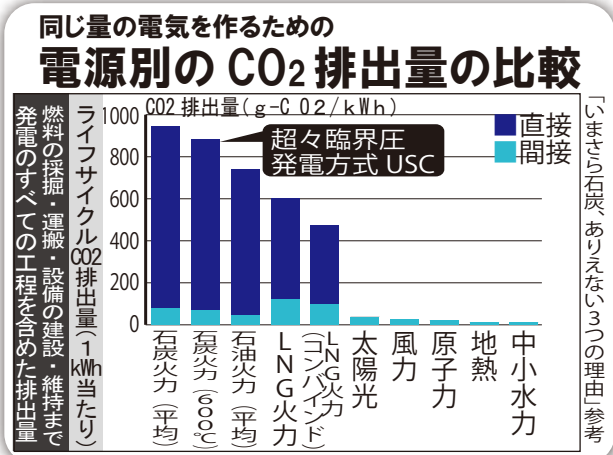
(仮称)蘇我火力発電所建設計画 「計画段階環境配慮書のあらし」より



名称	(仮称)蘇我火力発電所
建設	千葉市中央区川崎町1番地
予定地	JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)構内
発電方式	超々臨界圧発電方式(USC)
出力	約107万kW(発電端)1基
燃料	石炭+副生ガス
着工	平成32年(予定)
運転開始	平成36年(予定)
事業主体	中国電力を主体の特別目的会社(SPC)

計画概要(中国電力(株)、JFEスチール(株)の説明資料)より

原発1基分相当



千葉県内で計画中の 石炭火力発電所

建設予定地	事業者	出力万kW
千葉市	中国電力・JFEスチール	107
市原市	市原火力発電合同会社	100
袖ヶ浦市	千葉袖ヶ浦エナジー(九州電力、出光興産、東京ガス)	200
不明	不明	100

参考：石炭発電所新設ウォッチ・石炭発電所新設マップ

全国で計画中の 石炭火力発電所

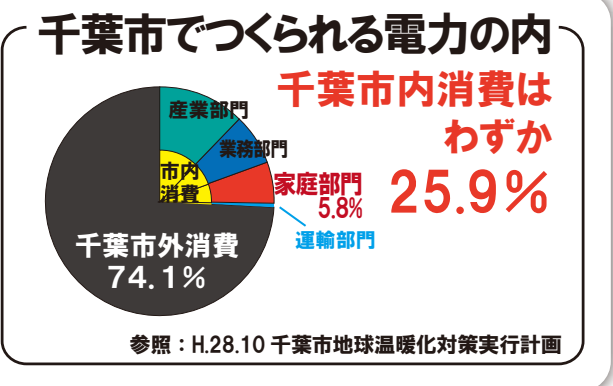
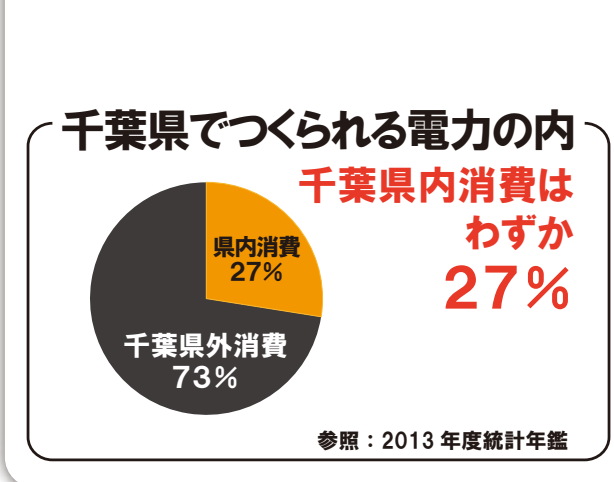
都道府県	基数	設備容量(万kW)	CO2排出量(万トン)(推計)
千葉県	4	407	2,442.00
兵庫県	4	250	1,500.00
福島県	6	241.6	1,450.00
秋田県	4	201.2	1,207.00
茨城県	3	140.7	844
山口県	3	131.2	787
神奈川県	2	130	780
愛知県	3	121.1	727
島根県	1	100	600
長崎県	1	100	600
広島県	3	87.8	527
愛媛県	1	50	300
宮城県	2	26.1	157
福岡県	2	22.4	134
北海道	1	11.2	67
岩手県	1	11.2	67
静岡県	1	11.2	67
三重県	1	11.2	67
岡山県	1	11.2	67
宮崎県	1	6	36
	46	2164.1	12,984.60

平田仁子(気候ネットワーク)氏資料を基に作成

国の考え・世界の動き

- 環境省：(仮称)蘇我火力発電所の環境保全に対し、国内外の厳しい状況を指摘。環境へのリスクが極めて高く2030年度以降に向けた二酸化炭素排出削減の取組ができない場合、事業の再検討・実施検討が重要としている。
- 経産省：2030年の火力発電構成は、LNG火力27%、石炭火力26%、それぞれ高効率化を進め活用する方針。
- 世界：地球温暖化対策の為、脱炭素社会へ。
- パリ協定：世界共通の長期目標として、産業革命前からの地球平均気温上昇を2℃より十分下方に保持。また、1.5℃に抑える努力を迫る為、今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出と吸収のバランスを達成するよう、世界の排出ピークをできるだけ早期に迎え、最新の科学に従って急激に削減する。
- 日本：2030年に温室効果ガス排出量を2013年比でマイナス26%を目標。

電気は足りている 7割以上は県外に





蘇我にもう発電所は要らない

あおぞら裁判

市民による大気汚染との戦い(川鉄公害訴訟)

千葉市蘇我に1951年にできた川崎製鉄所は生産規模をどんどん拡大し、工場からの煙で住民に重大な健康被害が発生しました。

「赤い煙を出さないで」「夜中にへんなにおいやキンキラキンを出さないで」と子どもたちの作文にも書かれ、医師、学校の先生、行政職員、お母さんなどさまざまな人が参加した「千葉市から公害をなくす会」が1972年に結成されました。



いろいろな人が参加したあおぞら裁判

市民の2割以上7万5千人もの賛同を集めて「公害防止基本条例制定」の直接請求がなされましたが、結果は却下。1975年、ついに住民が提訴。これが「子どもたちに青空を」という願いをこめて「あおぞら裁判」と呼ばれるようになったのです。

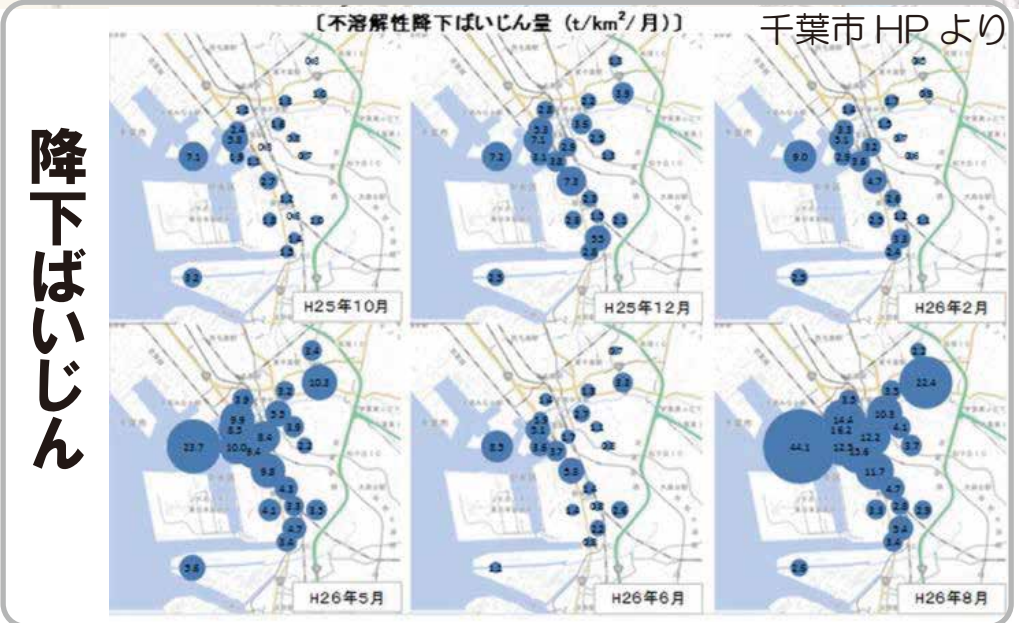
裁判では、高校生をはじめ多くの市民による測定データが提出され証拠となりました。1992年、裁判は長い年月をかけて両者の間で全面合意を得ました。この結果はその後全国の裁判に影響を与えたのです。

千葉の青い空は、長い年月をかけて市民の手によって取り戻され、ようやく回復してきたのです。(しかし、まだまだ課題は残っています)

画像:「千葉川鉄公害訴訟のあゆみ、私たちの青空裁判」光陽出版社より

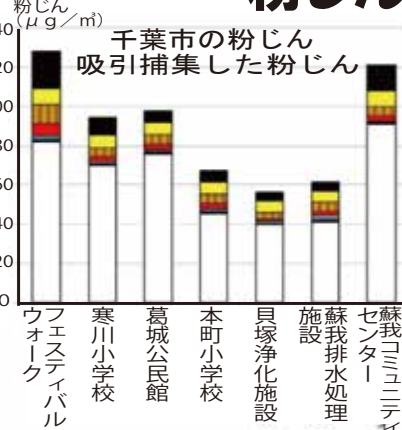


千葉市 HP 中央区ガイドマップより、加筆



降下ばいじん

粉じん

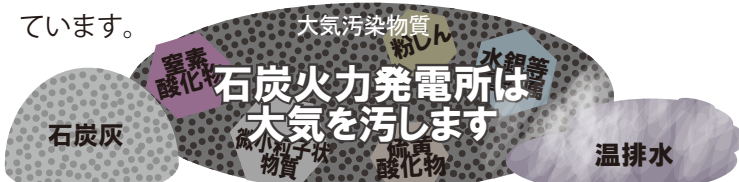


- 元素状炭素
- 有機性炭素
- 鉄
- カルシウム
- ナトリウム
- アルミニウム
- 亜鉛
- カリウム
- マンガン
- その他

千葉市 HP より

黒い粉じんへの苦情も

千葉市では中央区の臨海部で、「網戸や物干しざおが、毎日ぞうきんでふいても真っ黒でべたべたしている」と、黒い粉じんへの苦情が役所に多く寄せられています。窓を開けるとテーブルや床がざらざらする、こうした粒子の大きな「降下ばいじん」は南西系の強風時に高いことがわかっています。



住宅密集地域のすぐ近くに、大規模な石炭火力発電所計画があることを知り、多くの方にその問題を伝えたいと活動しています。

連絡先・発行：蘇我石炭火力発電所計画を考える会
事務局：090-7941-7655 (小西)

2017年3月31日